

# 一般社団法人みらいのいばしょ研究所 事業報告（令和3年度）



## 法人について

一般社団法人みらいのいばしょ研究所は、不登校、ひきこもり、発達障害等の子ども、若者等を支援するために、令和3年5月に設立されました。理事会設置の非営利型一般社団法人で、理事3名、監事1名で運営しております。

## 設立の動機

令和4年3月現在、不登校の児童は過去最高の人数を記録しています。また、ひきこもりの方の数も全国で100万以上いると推計され、ともに看過できない社会問題となっています。これら不登校、ひきこもりが長引く要因には様々なものがありますが、その一つとして発達障害等に起因する生きづらさがあげられることもしばしばです。

このような現状にもかかわらず、不登校、ひきこもりの児童、若者に対する支援は、質、量ともに不十分であると言わざるをえません。行政においてもNPO等の民間支援団体においても、ごく限られた数の支援団体が、限られた人数と予算で支援を行っているのが現状です。

こうした現状に鑑み、支援の質や量の向上に寄与するべく、当法人は設立されました。

## 当法人の特色

当法人のスタッフは、これまで心理職の経験（公認心理師）、障害福祉職の経験、フリースクール等での指導経験があり、不登校、ひきこもり、発達障害等の児童、若者を多く支援してきた経験を持ちます。

また、相談支援専門員（障害福祉分野でのケアマネージャー）の経験のあるスタッフもあり、支援の必要な方の状態を知るための「アセスメント」や支援をどのように進めるかという「支援計画」の策定にも精通しております。

このようなアセスメント実施と支援計画策定を利用者に行うことによって、より質の高い支援を提供するべく努力しております。

さらに、スタッフにおいては、継続的に専門的な研修を受け、また、連携のための集まりに参加することを奨励されており、多様化するニーズに対応するべく研鑽を積んでいます。

## 実施事業

令和3年5月の設立以降、次のような支援事業を行ってきました。

### 学習支援事業

令和3年度はコロナ禍のために、主にオンラインで学習支援を行ってきました。主に不登校の児童、通信制高校に在籍中の児童を対象に、延べ80回程度の学習支援を提供してきました。

### 心理相談事業

令和3年度はコロナ禍のために、主にオンラインで心理相談（カウンセリング）を行ってきました。延べ30回程度の相談を実施しました。また、心理相談業務に付帯して、不登校の児童向けの心理ワークの実施、支援者向けのメンタルヘルスの研修講師の受託等を行いました。

\*令和3年度はコロナ禍のために、当初計画されていたいばしょづくり事業は延期となりました。

## これまでの活動記録

学習支援事業、心理相談事業を中心に、こんな活動を行ってきました

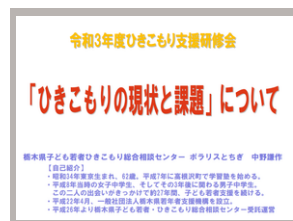
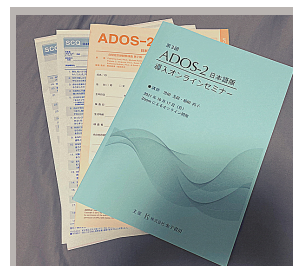
- 令和3年 8月 ・前橋市内フリースクールにて子ども向け心理ワークの開催
- 9月 ・前橋市内フリースクールにて子ども向け心理ワークの開催
- ・前橋市内フリースクールにてボランティア向け研修講師
- 10月 ・まえばしCITYエフエムに出演、団体紹介
- ・前橋市市民活動支援センターにて団体運営の事例発表
- 11月 ・県内にて職員向け研修講師（二か所）
- ・前橋市内にて講演会の実施
- 12月 ・前橋市内にて講演会の実施
- 令和4年 1月 ・前橋市内にて職員向け研修講師
- 2月 ・前橋市内にて職員向け研修講師
- ・支援に関する勉強会を主催



## 職員研修

こんな研修を受けました

- 令和3年 7月 ・千葉大学主催「思春期・おとなの自閉スペクトラム症—認知行動療法研修会—」
- 8月 ・発達障害児者の情動調整への支援—社会性と情動の学習（SEL）プログラム—
- 10月 ・ADOS-2 日本語版 導入オンラインセミナー
- 11月 ・ACTを応用した学級での心理教育
- 12月 ・横浜上大岡 臨床心理センター主催「引きこもり支援～家族療法の観点から～」
- 令和4年 1月 ・子どものトラウマに対するCBT
- 2月 ・令和3年度鹿沼市ひきこもり支援研修会



## 新事業の実施

令和4年度は、学習支援事業、心理相談事業に加えて、いばしょづくり事業を行う予定です。

### いばしょづくり事業

不登校、ひきこもりの子ども、若者が通うことのできる「いばしょ」を設置、運営予定です。社会参加のはじめの一歩となる場を目指し、フリースペース機能、フリースクール機能、簡単な就労準備支援、余暇支援を提供する予定です。

平成4年4月に、不登校、ひきこもりの子ども、若者のための「いばしょ」を前橋市に開所し、運営する予定です。

このいばしょづくり事業では、利用者に対してアセスメントの実施と支援計画の策定を行い、個別のニーズに合わせた支援を行っていきます。

また、ヨガ・マインドフルネス講座、ICTの基礎講座、イラスト・音楽・文章などの表現講座などを実施予定で、集団で楽しみながら、体力づくり、技能獲得、他者との交流を育んでいく予定です。

不登校やひきこもりの子ども、若者が通い、集うことで、社会参加の一歩となるよう支援を行っていきます。

## 他団体との連携・協働と市民活動としての拡がりの試み

法人設立以来、他の不登校支援団体、ひきこもり支援団体、社会福祉協議会等との交流に努めてきました。そこで出来たネットワークをもとに、連携と協働を進めていく予定です。

また、社会問題としての不登校、ひきこもり問題の解決に少しでも近づくために、ボランティアの積極的な受け入れや講演会の実施など、市民活動としての拡がりを視野に入れ、法人の活動を行っていきます。

## 助成情報

令和3年8月にさわやか福祉財団より「地域助け合い基金」の助成を頂きました。オンライン機材と印刷機材の充実を図り、オンラインの支援や資料印刷に活用させて頂きました。感謝いたします。



一般社団法人みらいのいばしょ研究所  
〒371-0014 群馬県前橋市朝日町1-26-21  
web: <https://www.mira-iba.org/> E-mail: [info@mira-iba.org](mailto:info@mira-iba.org)